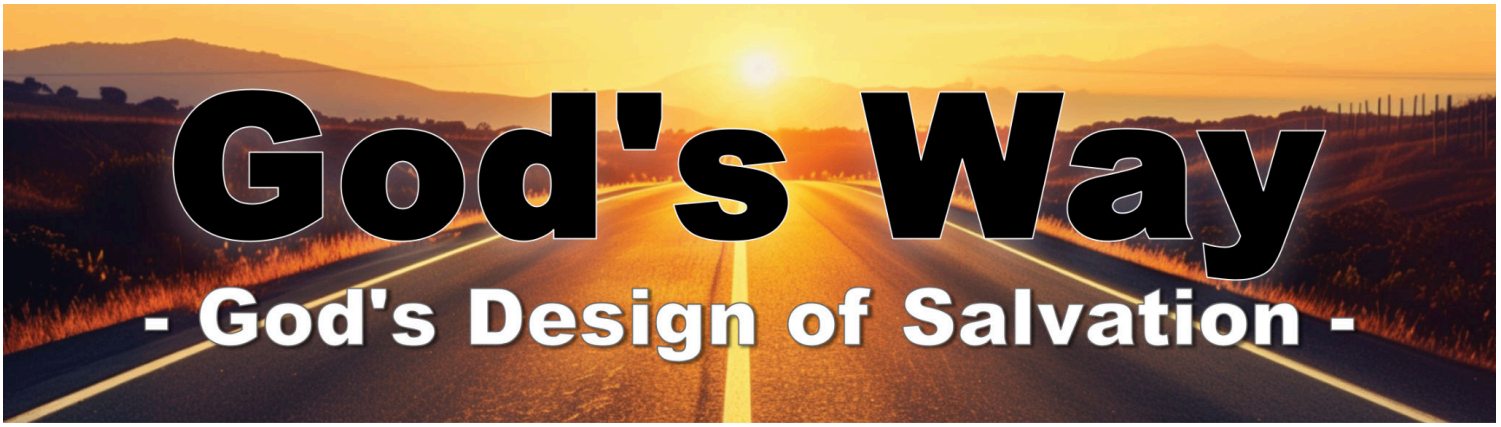


Week of May 10, 2026 - The Gospel of God　　Small Group Lesson 1

知り合う

これまでの人生の中で、何か重要な知らせを強い不安を抱えながら待っていた時のことを思い出してみてください。ついに「良い知らせ」を耳にしたその瞬間は、どのようなものでしたか？その突然の安堵感によって、あなたの体や心の状態はどのように変わったでしょうか？その経験を通して、信頼すること、心配すること、あるいは「信仰（確信）」について、どのような学びがありましたか？

聖句　ローマの信徒への手紙 1:1-7（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

1 キリスト・イエスの僕、使徒として召され、神の福音のために選び出されたパウロから――2 この福音は、神が聖書の中で預言者を通してあらかじめ約束されたものであり、3 御子に関するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、4 聖なる霊によれば死者の中からの復活によって力ある神の子と定められました。この方が、私たちの主イエス・キリストです。5 私たちは、この方により、その御名を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くために、恵みを受けて使徒とされました。6 あなたがたも異邦人の中にあって、召されてイエス・キリストのものとなったのです。――7 ローマにいる、神に愛され、聖なる者として召されたすべての人たちへ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 1節で、パウロは自分の身分（アイデンティティ）と、人生の具体的な目的をどのように説明していますか？

2. 2〜3節によると、この福音の「起源」は何であり、それは誰に関するものだと言っていますか？

3. 4節において、イエスが神の御子であることを「力強く公に示した（証明した）」出来事は何ですか？

4. 5節によると、私たちはあらゆる国の人々の間に「何」をもたらすために、イエスを通して恵みと使徒の職を授かりましたか？

分かち合い

話し合い　その１：

タケシ牧師は、私たちには2つの選択肢があることを指摘しました。それは、「自分の利益や野心のために生きるか」、それとも「イエスの自発的な僕として生きるか」です。あなたの人生の具体的な領域で、今「何があっても神に従う」ことが最も難しいと感じる領域はどこですか？ もし「神は常に自分にとって最善を願っておられる」と心から信じられたら、その領域におけるあなたのストレスレベルはどう変わるでしょうか？

話し合い　その2：

もし私たちの生き方が「自分が何を信じているか」の反映であるとするならば、あなたの今のライフスタイルは、あなたが抱いている「神への観点（神をどのような存在だと思っているか）」について、何を物語っているでしょうか？

もしこの一週間、神様は100％愛に満ち、真実な方であると完全に確信して過ごしたとしたら、あなたが関わっている「人間関係」のうち、対応（接し方）が変わるものはどれですか？一つ挙げてください。

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。